

ちば山の会50周年記念行事「日本列島横断山行」

南アルプス聖岳・中岳・千枚小屋 山行報告（2015年9月20日～24日）

CL広木 愛子・菅井 修

【菅井 報告】

- 8/19 (水) 前日
広木宅 12:00----16:00 新静岡 IC -----18:00 畑薙ダム
- 8/20 (木) 第1日目
畑薙ダ 5:20---5:30 沼平 6:00---6:30 畑薙吊り橋 6:40---8:30 ウツコ沢小屋
9:20--11:30 横窪沢小屋 12:00----15:00 茶臼小屋 (テント泊)
- 8/21 (金) 第2日目
茶臼小屋 4:50----7:20 上河内岳--- 9:20 聖小屋分岐 9:50----10:15 小聖岳
----12:00 聖岳直下水場(ビバーク)
- 8/22 (土) 第3日目
聖岳直下水場) 5:20----6:40 聖岳----9:20 兎岳避難小屋---- 11:30 中盛丸山----
12:20 百間洞テン場 (テント泊)
- 8/23 (日) 第4日目
百間洞テン場 5:10----6:30 百間平---- 8:00 赤石避難小屋 8:30----10:20 大聖寺平
10:45 ----11:20 荒川小屋 12:00----14:00 中岳----14:20 中岳避難小屋 (泊)
- 8/24 (月) 第5日目
中岳避難小屋 5:25----6:30 東岳---8:00 千枚岳 8:30---- 8:55 千枚小屋----10:30
見晴台 10:50 12:10 道路----12:20 閉鎖旧道分岐----13:00 電力会社見回り道
----13:50 吊り橋----14:10 樺島バス停 14:35----19:20 沼平駐車場 20:00----22:20
新静岡 IC---- 23:55 横浜厚木 IC---- 24:50 習志野 IC---- 25:10 広木宅

・前日 19日

12時過ぎ広木宅を出発。湾岸習志野より湾岸を横浜から16号線を通り横浜厚木ICより東名に乗り新静岡ICで降りた。当初の予定では仮泊地は「安部こころ」だったが、畑薙ダムまで行くことにした。

ダムサイトのバス乗り場にはトイレもあり、今時珍しいカード式電話もある。車中泊には快適な環境だ。夜中雨が降ってきた。

・第1日目 20日



昨夜の雨はほぼやんでいたがしめった霧が深い。沼平まで車で行き雨具を着けて出発。長い吊り橋の前で写真を撮りいよいよ樹林帯の中の登山道を進む。登るに従いしめった霧は霧雨のようになる。カップを付けて歩くとかなり暑い。ウツコサワ小屋に着く頃一時本格的な小雨となった。小屋はかなり広くきれいだった。雨は時々霧状になったり降ったりカップの調整が煩わしい。とにかく暑い。首に巻いたタオルが何回も絞れる。

横窪沢小屋での休憩後、霧雨と暑さに気分も失せようとする頃やっと茶臼小屋に着いた。荷物も軽量化も考え、小屋の豪華な夕食を食べた。私はたぶん水分と塩分の不足のせいと思うがいつもより食欲が落ちている。

・第2日目 21日

昨夜の小屋の天気予報では、今日の午前中は霧、午後は晴れ。天気の回復を期待し比較的乾いた霧の中を出発。上河内岳を過ぎ樹林帯を少し下ると登山道から少し離れた所にある聖平小屋がある。ここで初め宿泊予定の兎小屋は、学生で満室で小屋の外にテントを張る事になるとの情報を得る。少し思案の末、行けるところまで行きテントを張ることで出発。しかし、小聖岳に近づくとつれ、天気予報とは逆に、霧雨模様になる。聖岳直下の水場で水を補給していると本格的な雨となってしまった。晴れていたなら何ら問題の無い時間だが、雨の中これから4時間以上の行動はきつい。周囲を見渡すと右側に5m程下がった所に格好のテン場がある。これ幸いとテントを張ることにした。テントの中で濡れた衣類を乾かしながら過ごす。雨はますますひどく、風もかなり強くなってきた。予定通り進んでいた場合大変なことになった可能性もあった。

・第3日目 22日

雨は降っていなかったが、霧が深い。聖岳直下のジグザグの道を進む。雨こそ降らないが、聖岳からの見晴らしは相変わらず悪い。その後稜線を快調に進む。兎岳を過ぎ、子兎への緩やかな登りにかかる頃、石に右へ降りる標識がある。標識通り行くと、やがて道は狭くなる。ふと前方を見ると、登山者2人が何か叫びながら登ってくる。この道は水場への道だった。



反対方向から来れば、水場の文字があるが、非常に紛らわしい。元に戻り、稜線上を進む。中盛丸山を過ぎると百間洞への樹林帯の道が続くが、長く感じる。天気は回復してきた。テン場ではあちこちで濡れた物を干している。今夜の夕食も小屋食とした。

・第4日目 23日

早朝、相変わらず霧だが、今日は晴れてきそうだ。百間平辺りから霧も薄くなり時々青空も見える。振り返ると昨日まで歩いてきた山々が霧の上に見える。晴れてくると足も快調になる。

赤石避難小屋では広木さんが小屋の主人としばらく懐かしそうに話をしている。奥さんがハーモニカを吹いてくれたそうだ。天気も回復し、頂上からは遠くの山々が見渡せた。今回の山行で初めての眺望だ。大聖寺平らの緩やかな斜面でも景色を堪能し、ほぼ水平な道を荒川小屋へ向かう。荒川小屋で水を補給し荒川中岳に向かう。荒川への登山道の脇に鹿よけネットが張ってある所にでた。ネットの中では様々な高山植物の花が咲いているが外ではほとんど花はない。改めて鹿の食害を思い知らされた。ほぼ頂上の3006mにある小屋はすぐだ。

・第5日目 24日

当初二軒小屋に下る予定だったが、二軒小屋に宿泊する者だけしか利用できない事が判明 樫島へ下ることになった。6:00でも間に合うとのことでゆっくりと身支度をし、5:30 出発。山の斜面には高山植物が抱負に咲いている。今回の山行でお花畑は初めてだ。何カ所かの岩場を過ぎ千枚岳を過ぎると、後は樹林帯の下りだ。千枚小屋近くで水を補給し、比較的なだらかな下りがずっと続くものと思いながら快調に進み見晴台分岐で休憩。その後も緩やかな下りが続く。道路を少し上方向に歩いた後再度登山道になるが、崩壊した旧道との分岐から思いもしない梯子とロープのある中部電力の見回り道を歩くことになった。余裕で14:00には間に合うと思っていたのがとんだ誤算。



ここから樫島まで1時間以上かかってしまった。

樫島には14:10着。すでにバスは出発した後。誰もいない。仕方が無い。18:00には沼平に着くとの予想で、やむなく14:30に歩く事にした。しかし長い。やがて暗くなり、沼平に着いたのは19:20頃だった。昭文社の地図での時間は5時間30だった。

沼平の管理人に電話を貸してもらい、茶までごちそうになった。大変お世話になりました。帰り、笠張峠付近は10m先も見えないような深い霧で慎重に運転して帰った。

【広木 報告】

今回のコースは、私が高校3年の時に山岳部で初めて登ったコースです。当時の装備は現在とは大変な違いで、話しをするのも恥ずかしいほどです。

ここ10年ほど、北岳～茶臼岳間を、1週間かけて毎年テント山行をしています。時には北岳から、時には茶臼岳から、でも天気の状態や体調で、途中でリタイアしたこともあります。今年も、この山に来られた事をうれしく思います。

菅井さんに報告をまとめていただきましたが、私も、若かりし頃を思い出しながら、ダブらず、今回感じたことを、報告します。



・ 1日目 8/20

横窪沢小屋のおじさんは、何時も親切で着くとお茶をご馳走してくれる。お話していると、出発するのが嫌になりそう。来年は、ダム出発を遅くして、ここに泊まろうと思いました。

2年前のテント泊も、茶臼小屋の夕食は、メカジキのおさしみでした。そして、去年は、ウナギでした。今年も夕食をお願いしました。鳥から揚げ、豚焼肉、サラダ、野菜煮物、味噌汁、ごはん、フルーツで、2100円、とてもおいしかったです。

・ 2日目 8/21

聖岳を超え、兎避難小屋を目指しますが、今日が一番の難所と思い、かなり厳しいので、聖小屋での1泊を提案しましたが、菅井さんは、僕はいけるという事で、頑張る気一杯でした。私は、気が重くしどろしどろ行く事にする。案の定、小聖を超えたあたりから雨模様。水場では雨具を付けねばいけない状況となる。唯一テントの張れる場所があったので、頂上からの下山者もいたがテントを張る事とする。夕食をつくるも、菅井さんが食欲なくて心配。

・ 3日目 8/22

朝食時ガスバーナーをセットしてくれたが、ヒヤリハットがあった。ライターが無いと言うので、私のライターでヘッドに火を付けたら、ポーと燃え上がり、私の前髪が焦げてとても怖い思いをした。ガスボンベの下にライターを挟んでいたらしく、ライターが熱せられ気化して燃え上がったらしい。テント等に引火しないで良かった。

聖岳山頂直下でビバークした為、聖の登りは非常に楽でした。あっという間に着き、雲の間から見る景色はやはりとても素晴らしいモノでした。

百間洞でも夕食を頼みました。これが、2100円で、とんかつ、野菜サラダ、カレー、蕎麦、味噌汁、ごはん、おかずが沢山あり、お変わりが出来ずに悔しい限り。菅井さんは、あまり食べられず眠ってしまいましたが、私はおいしく残さず食べました。

・ 4日目 8/23

百閒平へ、天気が良く、菅井さんも元気で良かった。テントをたたむと「少し先に行くね」と一人で、さっさと先に行ってしまふ。いくら追っても追いつかない。百閒平で、普通みんな休んで眺める所なのにいない。テン場にいた若者に、「先に行ったと言って、休まず行きましたよ」とのこと。若者が「梨食べませんか」思わず「ご馳走様」美味しくいただきました。3週間早ければ、お花畑の真ん中なのに少し残念。私も休まず後を追いました。C大学の学生グループが休んでいる所に行くと、学生が「おじさんは、先に行きましたよ」との事、次に追いついた時、思わず「見える範囲で歩こうよ。一緒の山行なんだから。」と一言、きっと気分が良かったのね、だからどんどん歩けたのでしょ。最高のスカイハイキングコースで、聖は見えるし、前には赤石岳です。



赤石避難小屋で、親父さん、奥さんに会う。懐かしかった。毎年やっとの思いでたどり着くので、テントから解放されホッとする。今年もこの小屋に泊りたかった。また来年泊まりに来ようと思いました。C大学の若者達と、赤石岳・荒川小屋でお話できました。ちば山の50周年記念山行の話等、いろいろと。横断幕を見て、とても褒めてくれました。とにかく礼儀正しく頼もしい若者たちでした。中岳避難小屋では、客は私たちの他は2名。小屋番をまじえて楽しく話しました。とても勉強になりました。

私は夕食は持参の共同食をつくり食べ、菅井さんは小屋のレトルトカレー（1000円）を食べました。寝床は2階で、毛布は引いてくれてあります。菅井さんは、シュラフで寝ましたが、寒くて夜中に毛布を借りました。1000円です。わたしは、シュラフカバーだけでしたが、ホッカイロを当てて寝ました。

・ 5日目 8/24

楽しみながら、千枚岳まで下る。しかし、そのあとが、思いのほか大変でした。菅井さんが今日中に帰りたいとの事で、樫島で頑張るがバスは、目の前を走って行ってしまった。



気を抜くと歩けないと思い、一休みしてから歩くことにする。高校生の時も、畑薙ダムから大釣り橋をわたり、茶臼岳から6日間程かけ、樫島から畑薙ダムまで歩きました。当時はバスが無かったのです。今回は、バスに乗り遅れて、結果的には高校時代と同じになってしまいました。トホホ、、、です。でも、私にとっては、2日分を1日でこなせた事はとてもいい気分です。

菅井さんもこんなに長いテント山行は、行った事がなかったのではないでしょか。

リーダとしての、反省すべきところが沢山ありました。

個人山行では、どうにでもなることがならない。

もう少し、ゆるく計画しないとイケないと、反省しています。